

鳴門教育大学（6） 英語科における「話すこと」の指導と評価の一体化に関わる基本演習

1 目的  
言語活動（パフォーマンステストを含む）の設計・運営に関する講義・演習を通して、英語授業のデザイン力・マネジメント力の向上を図る。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について  
重点項目Ⅴ－推進項目15－⑩教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組  
【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○授業力・学習指導「B 授業構想力」「C 授業実践力」

2 主催  
鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期 日  
令和8年7月29日（水）

4 会 場  
鳴門教育大学 共通研究A棟 3階 A318会議室

5 対象者  
(1) 職種 教職員  
(2) 校種 中・高・中等  
(3) 定員 30名

6 内 容  
(1) 教科書を使った授業で言語活動を中心とした授業展開  
(2) 言語活動を活性化させるフィードバック  
(3) パフォーマンステストによる到達度評価

7 講 師  
鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 英語科教育コース 准教授 千菊 基司

8 日 程  
9：30～9：50 受付（共通研究A棟 3階 A318会議室）  
9：50～10：00 開会、イントロダクション  
10：00～12：00 講義・演習・発表「教科書題材を活かした言語活動の作成と英語運用力の育て方」  
12：00～13：00 昼食  
13：00～14：30 講義・演習「言語活動時の「中間指導」におけるフィードバック原則と運用」  
14：40～15：50 演習「パフォーマンステストの作成」  
15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物  
・勤務校で現在使用している（していた）教科書と実施したパフォーマンステスト（2学期に実施予定のものでも良い。）  
・筆記用具

10 その他  
(1) 参加前に、COMPASS Plus (<https://www.pref.tokushima.lg.jp/compass-private-/top/movie/>)にある動画のうち、千菊准教授の担当しているものを視聴されていることを前提として講義・演習を進めます。また、参加者が分かり次第、当日に扱う題材文を配布します（方法は未定です）。

(2) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届（PDF形式）をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和8年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

【送付先】〔教諭、栄養教諭、学校栄養職員〕

総合教育センター教職員研修課  
kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

※県立学校は、学習系端末（外部メール）から提出してください。

〔養護教諭〕

体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

(3) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(4) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(2)の手順に従ってください。

- (5) 研修にふさわしい服装で参加してください。
- (6) 昼食は近辺でとるか、各自で御準備ください。大学食堂も御利用いただけます。
- (7) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 新久保 諭 088-672-6419